

# 琵琶湖疎水

2012.4.10初稿 2018.2.24 改定

資料: **京都上下水道局HP参照**  
<http://www.biwako-sosui.jp/> (琵琶湖疎水の説明あり)

## 1. 琵琶湖疎水(琵琶湖水面・標高85mから京都市内へ)

**琵琶湖一蹴上(12Km 落差4m) 3mで1mmの勾配**

第一疎水: 浜大津一山科一蹴上(発電所)80m一鴨東運河45m一鴨川運河  
一伏見放水路10m(一濠川一宇治川)

疏水分線: 蹴上80m一若王子一哲学の道一北白川疏水道(一高野川など一鴨川)

第二疎水: 浜大津一地下トンネル一蹴上80m

## 2. 3人の主役

北垣国道(京都府知事) **田辺朔郎(卒業後京都府就職・工事部長)**

嶋田道生(測量部長)

## 3. インクライン

**蹴上発電所(落差36m・世界で2番目、日本初の水力発電、初めての路面電車)**

蹴上船留と南禅寺船留の間をつなぐ線路

## 4. ねじりまんぼ

トンネル内部の天井の煉瓦が螺旋状を描いている(日本初??)

## 5. 国の史跡: 12か所

第一竪坑: 小関越、長いトンネルに不可欠でその後のモデル

第十一号橋: 日本初鉄筋コンクリート橋、山ノ谷橋

インクライン: 電動式では当時最長、ねじりまんぼ込みか?

水路閣: ローマの水道橋と類似

トンネル出入口洞門

など

## 6. 3つの発電所と4つの浄水場

関電の京都発電所11か所 蹴上・夷川・墨染の3つが疏水のライン

浄水場: 京都市に4つ すべて疏水のライン 但し、新山科浄水場のみ「宇治川+疏水」

## 7. トンネル洞門の石額

### 京都上下水道局HP参照

<http://www.biwako-sosui.jp/> (琵琶湖疎水の説明あり)

#### 1 第2疎水取入口

萬物資始(ばんぶつとりてはじむ)

久邇宮邦彦 筆

すべてのことがこれによって始まる(易経)

#### 2 第1疎水第1トンネル東口(大津側)

氣象萬千(きしょうばんせん)

伊藤博文 筆

千変万化する氣象と風景の変化はすばらしい

(宋・岳陽樓記の一節)

#### 3 第1疎水第1トンネル内壁

寶祚無窮(ほうそむきゆう)

北垣国道 筆

皇位は永遠である

#### 4 第1疎水第1トンネル西口(藤尾側)

廓其有容(かくとしてそれかたちあり)

山縣有朋 筆

悠久の水をたたえ、悠然とした疏水のひろ

がりは、大きな人間の器量をあらわしている

#### 5 第1疎水第2トンネル東口

仁似山悦智為水歡歡（じんはやまをもつてよろこびちはみずをもつてなるをよろこぶ）

井上 馨 筆

仁者は知識を尊び、知者は水の流れをみて心の糧とする（論語）

#### 6 第1疎水第2トンネル西口

隨山到水源（やまにしたがいきすいげんにいたる）

西郷従道 筆

山にそって行くと水源にたどりつく

#### 7 第3トンネル東口

本邦最初鐵筋混凝土橋

昭和7年 建立されたわが国 初の鉄筋コンクリート橋の碑

#### 8 第1疎水第3トンネル東口

過雨看松色（かうしょうしょくをみる）

松方正義 筆

時雨が過ぎるといちだんと鮮やかな松の緑をみることができる（唐・盧綸の詩）

#### 9 第1疎水第3トンネル西口

美哉山河（うるわしきかなさんが）

三条實美 筆

なんと美しい山河であることよ  
くにの宝である美しい山河を守るには、為政者の徳と国民の一致が大切との含意も（史記・呉記列伝）

#### 10 疎水合流トンネル北口

藉水利資人口（すいりをかりてじんこうをたすく） 田邊朔郎 筆

自然の水を利用して、人間の仕事に役立てる

#### 11 一身殉事萬戸露恩（いっしんことにじゅんずるはばんこおんにうるおい）

田邊朔郎 筆

昭和35年 田邊朔郎が私費建立した第1疎水殉職者慰霊碑（蹴上）

#### 12 蹴上”ねじりマンボ”南側

雄觀奇想（ゆうかんきそう） 北垣国道 筆

見事なながめとすぐれた考えである

#### 13 第2期蹴上発電所入口

亮天功（てんこうをたすく） 久邇宮邦彦 筆

民を治めその所を得さしめる（書経・舜典）

#### 添付資料

琵琶湖疎水の全体

その1 三井寺駅周辺 取水口から第一トンネル

その2 第一トンネルから第三トンネル

その3 蹴上周辺 第一第二疎水の合流から桂川、宇治川まで  
「扁額（へんがく）」に記載された文字